

南スーダン自衛隊撤退を

答 意見述べるところでない



青木 綱次郎 議員
(共産党)



JR松井山手駅東側と松井ヶ丘三丁目を結ぶ階段

安内内閣は、南スーダンPKOに派遣する自衛隊に「駆け付け警護」任務を付与した。再び日本が、国の政策の結果として「戦死者」を出しかねない事態を迎えており、国の進路を誤らうとしている。市長が市民の代表として、「駆け付け警護」任務の撤回と、自衛隊の南スーダンからの撤退を求めるべき。

市長 安全保障環境の変化に対応するため、安保法制が成立した。外交、防衛政策等は国で十分議論されており、意見を述べるところではない。

新たに建設するゴミ焼却場について、公設民営・DBO方式が良いとした経過と根拠は、また、同方式によりスク管理、情報公開、地域経済貢献などの課題があるかと考

えるが、市の見解は。

経済環境部長 平成27年度に可燃ゴミ広域処理施設の建設、及び運営・管理について効果的かつ効率的な整備方法の調査、検討を行ない、DBO方式の優位性が確認できた。公共が責任を担い、建設・運営を一括発注し、競争性により経済面の優位性や財政負担の平準化を図れる。現時点で大きな課題があるとは考えていない。

副市長 DBOは発注の方式として理解してほしい。

副市長 JR松井山手駅東側と松井ヶ丘三丁目を結ぶ階段にスロープの設置を。

建設部長 自治会と合意しスロープ設置等の工事を29年2月に着手し、年度内に完成の見込み。

幼稚園にエアコン設置を

答 平成29年度予算で検討



上田 毅 議員
(一新会)



豪雨により沈下した里道(打田地内)

小学校給食について。①小学校における現時点での給食費未納件数、及び未納額は②中学校昼食等検討委員会では、完全給食ありきではなく、現行方式の意義も十分考えた検討を進めるべきでは。

教育部長 平成23年は5件、24年は4件、25年は5件、26年は3件、27年は2件あり、57万4968円が現在も未納である。①検証をいただきたいながら、生徒や保護者の意向も把握し、総合的な議論の中で判断される。

学校のいじめ問題について。①小・中学校におけるいじめ問題の現状は、②本市のいじめは減少しているのか、③いじめ問題に対し、小・中学校、及び教育委員会の対応と連携性は。

えるが、市の見解は。

経済環境部長 平成27年度に可燃ゴミ広域処理施設の建設、及び運営・管理について効果的かつ効率的な整備方法の調査、検討を行ない、DBO方式の優位性が確認できた。公共が責任を担い、建設・運営を一括発注し、競争性により経済面の優位性や財政負担の平準化を図れる。現時点で大きな課題があるとは考えていない。

副市長 DBOは発注の方式として理解してほしい。

副市長 JR松井山手駅東側と松井ヶ丘三丁目を結ぶ階段にスロープの設置を。

建設部長 自治会と合意しスロープ設置等の工事を29年2月に着手し、年度内に完成の見込み。

20周年記念の婚姻届は

答 平成29年1月より配布を



櫻井 立志 議員
(公明党)



市制施行20周年記念の婚姻届・出生届

市制施行20周年を記念した事業やイベントの予定は。(市長) 平成29年5月に記念式典での記念表彰や講演を開催予定。また、芸術展などの記念事業や市民提案事業を計画している。各種イベントを通じ、本市の持つさまざまな魅力を全国に向けPRしたい。

20周年を記念した、思い出に残る婚姻届や出生届の作成の状況は。(市民部長) 記念用婚姻届・出生届の配布を、29年1月より開始する。市制20周年のロゴマークを入れた受理証明書も製作する予定である。

20周年を記念する「ふるさと納税」の特別な返礼品を贈る考えは。(総務部長) 20周年にふさわしい限定品として、特別枠の

耐震シエルターに助成を

答 避難困難者に対し実施



河本 隆志 議員
(みらい京田辺)



ロタウイルスワクチンを接種する乳児

平成30年から小学校3、4年生の英語が必修化されるが、どのような方針を進めるのか。(教育指導課) それぞれの学校に合った形での授業策定、並びに教育課程の編成を考えたい。

玉露や緑茶に関わる飲料で、乾杯条例を制定しては。(経済環境部長) 新しい取り組みとして向う。

空き家を更地にした場合に関わる税条例を改正し、措置を講じていく考えは。(市民部長) 自治体が国の施策に逆行するような条例をつくって対応することは難しい。

空き家対策で、定期借地権の制度を利用した施策を取り入れてみては。(建設部長) 一例として、今

後いろいろと勉強したい。(市長) 高齢者や身体障がい者など、災害時に避難が困難な方が居住している住宅に対し、補助を実施する方向で準備を進めている。

返礼品を準備。1月からスタートできるよう調整している。(市長) 20周年と20歳の「20」をかけた節目の年となるので、29年度に20歳を迎える男女に対して、商品券などの記念品を贈る考えは。(総務部長) 特定の年齢に限定するため、実施は難しい。

安心・安全の救命対策として、AEDの「ピンポイント」の設置に対し助成しては。(消防課) 事業者に対し、救命処置ができる人材の育成と設置の促進を働きかけたい。

食品ロスの削減に向け、学校に生ごみ処理機を設置し、食べ残しや残菜などの廃棄物の堆肥化に取組む考えは。(教育部長) 生ごみ処理機を設置する考えはないが、今後食品ロス削減に向け取組む。

後いろいろと勉強したい。(市長) 高齢者や身体障がい者など、災害時に避難が困難な方が居住している住宅に対し、補助を実施する方向で準備を進めている。

水ぼうそうの予防接種定期化以降に、2回目の助成を受けられなかった子どもに対し、助成制度を設けては。(健康福祉部課長) 国でも2回を標準としているが、1回でも重症化を予防する抗体ができる。

ロタやおたふくかぜの予防接種費用に対する助成制度を設けては。(健康福祉部課長) 国でも検討課題とされていることから、動向に留意したい。